

# ワークショップの様子と成果

(長崎地区の様子)



(標語(一部抜粋))

非常食 年1回の点検日

確かめよう 自分の地域のハザードマップ

我慢やめ 地球と共に生きてゆく

暑いとき 早め早めの水分補給

会社にも 家にも備える 防災グッズ

打ち水は 雨水利用で 夏すずし

この汗が 休めと言ってる 昼休み

冷房は 倒れる前に つけようね

## 【成果】

### ①「適応」の認知度・理解度向上

「適応」についての座学やワーキングで具体的な「適応策」について検討を通して、熱中症対策や防災、昔からある暮らしの知恵など、既実践している身近なことも多いことを理解され、周囲にも教えたい・広めたいという意見も多く見受けられた。

### ②県民の関心が高い気候変動の影響等についての情報収集

気候変動の影響については「暑さ・気温上昇」、「台風等の災害」など、身近に感じている分野の意見が多かった。適応策についても「熱中症対策」、「防災・ハザードマップ」についての意見が多く出され、地域住民の関心が高い項目であることが分かった。

### ③県民の適応策についての認識度向上

「早めの水分補給」や「家族で避難場所(ハザードマップ)を確認しておく」など、身近で「今すぐ自分たちでできること」も適応策であることを理解いただき、標語案の検討では「今すぐ自分たちでできること」をテーマとした標語が多く見受けられた。